

建設業の基信に 劣後ローン融資

日本公庫と岐阜信金

日本政策金融公庫岐阜支店は30日までに、岐阜信用金庫と連携し、建設業の基信(揖斐郡池田町、高橋敏也社長)に、新型コロナウイルス対策資本性劣後ローン5千万円を融資した。

同社は県内を中心に注文住宅の設計などを主に、ツーバイフォー工法やトラス

工法向けのパネル製造を手掛けている。コロナ禍からの業績回復に向けて、新たに岐阜市内に新工場を建設し、住宅基礎用のコンクリートブロックの生産を10月にも始める。

設備資金の確保や財務基盤の改善を目的に、自己資本に準ずる劣後ローンの融資を受けた。返済期間は20年で、最終年に一括返済する。